

2024年10月1日

## 住宅用窓シャッター（JIS A 4717）のJIS規格制定について

この度、住宅用窓シャッターのJIS規格が承認され、JIS A 4717として令和6年6月20日、公示されました。

本規格は（一社）日本サッシ協会、（一社）日本シャッター・ドア協会にて、原案を作成し、日本産業標準調査会（JISC）における審議、承認を経て制定に至りました。

近年、台風の大型化等による暴風雨の増加により、飛来物による窓ガラスの破損によって暴風が室内に入り込み、住宅内部だけでなく、壁、天井、屋根を破壊するなど、甚大な被害となる事例が発生しています。その対策として、従来、一般的には雨戸を使用していましたが、近年は、窓ガラスを合わせガラスにしたり、住宅用窓シャッターを設置する例が増えています。

これまで窓シャッターについては、飛来物の衝突被害を低減できる性能の評価やその試験方法等について統一的な規格がなく、今般、窓シャッターに要求される基本性能項目及びそれらの試験方法も定め、新たに「住宅用窓シャッター（JIS A 4717）」の規格が制定となりました。

詳細は以下をご覧ください。

住宅用窓シャッター（JIS A 4717）の概要

## 住宅用窓シャッター（JIS A 4717:2024）の概要

住宅用窓シャッターに要求される基本性能項目及びそれらの試験方法を規定

### 1. 耐風圧性（7等級に等級分け）

一定圧力を加えた後、シャッターの開閉等に支障が生じない性能

### 2. 開閉性

手動式の場合、開閉にあまりに大きな力を必要としないこと

### 3. 開閉繰返し性

シャッターを毎日2回、約10年使用した場合に相当する回数の開閉を行っても正常に動作すること

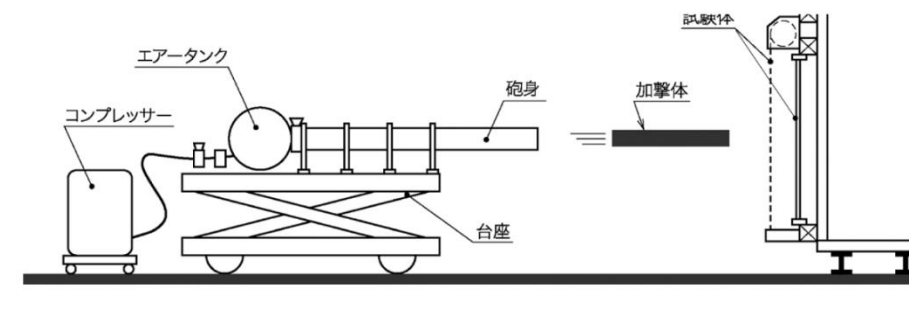
### 4. 障害物感知装置の作動性

シャッターを閉める際に障害物があった場合、停止又は反転上昇すること

### 5. 耐飛来物衝撃性

シャッターに飛来物が衝突した際の耐久性能

衝突させる加撃体の質量や衝突速度に応じ、4等級に等級分け



耐飛来物衝突性試験装置の例（JIS A 4717）

（ご参考）経済産業省リリース（JIS 制定・改正 2024年6月分）